SuMPO EPD JAPAN VERIFIED

SuMPO環境ラベルプログラム (SuMPO EPD)

Third party verified

Environmental Product Declaration

In conformance with

ISO14025 | ISO14040 | ISO14044

LIXIL

株式会社LIXIL

LIXIL Corporation

パブリック向けタンクレストイレ

Tankless Toilet for Commercial



登録番号	検証合格日	公開日	検証有効期間	EPDタイプ
SuMPO-EPD-2611-292-1	2026/11/6	2026/11/17	2031/11/5	単一製品EPD

※更新された場合は初版公開日

追加の準拠規格

ISO14067:2018, ISO21930:2017

EPDは検証期間であっても、更新または公開が中止となることがあります。
EPDの最新版および有効性を確認するには以下を確認してください。
https://ecoleaf-label.jp/epd/search

●基本情報

＞プログラム情報

プログラム名称	SuMPO環境ラベルプログラム
プログラムオペレーター	一般社団法人サステナブル経営推進機構
所在地	東京都千代田区内神田1-14-8 KANDA SQUARE GATE 4F
ウェブサイト	https://ecoleaf-label.jp

＞GPI・PCR情報

GPI	SuMPO EPD Japan General Program Instructions v.2.2.0
PCR名称	Core-PCR for 建材及び建設製品
PCR登録番号	SuMPO-PCR-01000-2-0-2
PCR認定日	2025/3/31
レビューパネル委員長（所属）	伊香賀 俊治 (慶應義塾大学 名誉教授、一般財団法人住宅・建築SDGs推進センター 理事長)
PCR有効期限	2030/3/30
PCR発行者	一般社団法人サステナブル経営推進機構

＞検証情報

検証の種類	ISO14025及びISO21930:2017に従った第三者検証		
	□ 内部	■ 外部	
	■ 検証員による第三者検証	□ 検証機関による第三者検証	□ EPDシステム認証による第三者検証
検証実施者（所属）	中村 洋之(Herb国際技術士事務所)		

＞準拠規格

準拠規格	■ ISO14040:2006	■ ISO14044:2006	■ ISO14067:2018
	■ ISO14025:2006	□ ISO21930:2007	■ ISO21930:2017
	□ EN15804+A2	□ EN50693:2019	□ ISO/IEC63366:2025

EPDに記載の情報及びEPDに記載の情報に関する環境主張についての責任はEPD取得事業者が持ちます。EPDの内容に関するご不明点、確認事項については、EPD取得事業者までお問い合わせください。

EPDの比較は、建設製品の機能を十分に考慮した上で実施されなければならないため、建設製品における建材のライフサイクル全体を考慮し、建設製品において同等の用途を想定したシナリオを適用している必要があります。EPDの比較の際に考慮すべき条件は本宣言が使用するPCRを参照してください。
EPDの比較可能性は、機能単位を適用しているものに限定されます。

環境影響評価結果はあくまで相対的な数値です。数値の大きさにより環境への影響を一概に結論づけられるものではありません。また、算定した数値は環境への具体的な影響の大きさや安全性（閾値を超過しているか等）、リスク評価（環境や人間にどれだけの影響を及ぼすか等）を直接示すものではありません。
加重平均を用いた算定の場合、ライフサイクル影響評価結果及びライフサイクルインベントリ分析関連情報、廃棄物関連情報、出力フローに関する環境情報は、特定の製品についての情報ではありません。

●EPD取得事業者情報

事業者名・部署名（日・英）	株式会社 LIXIL　環境推進統括部 環境推進部
住所	東京都品川区西品川1-1-1 大崎ガーデンタワー 24F
問い合わせ先	lixil-hq-kankyo@lixil.com
LCA算定実施者（所属）	株式会社LIXIL LWTJ サプライチェーン統括部 環境推進部 ／ 嶋田 武志
事業者概要	LIXILは、世界中の誰もが描く住まいの夢を実現するために、日々の暮らしの課題を解決する先進的なトイレ、お風呂、キッチンなどの水まわり製品と窓、ドア、インテリア、エクステリアなどの建材製品を開発、提供しています。

●製品情報

製品名称（日・英）		パブリック向けタンクレストイレ		
製品の型式		便器部：BC-K21S、機能部：DV-K213L-R1		
製品仕様	製品機能	大便器の洗浄水量: 大洗浄 5.0L/小洗浄 3.8L(ECO5) 温水洗浄便座の年間消費電力量: 182kWh/年(省エネ法 2012年基準に基づく測定値)		
	製品質量	36.0 kg	換算係数	36.0 kg/台
	製品の用途	パブリック向け温水洗浄便座一体型大便器		
	技術性能	JIS規格: JIS A 5207（衛生器具類）、JIS A 4422（温水洗浄便座） 法規適合: 電気用品安全法（PSE）適合、水道法基準適合（給水装置性能基準クリア）		
耐用年数	年数	7年		
	使用条件	一般社団法人 日本レストルーム工業会 工業会策定製品別 CFP 算定開示方法で定められた大便器と温水洗浄便座の使用条件を参照 ・温水洗浄便座：電気便座のエネルギー消費性能の向上に関するエネルギー消費機器等製造事業者等の判断の基準等（H19('07）年 11 月経済産業省告示、H25（'13）年改称） ・大便器：省エネ防犯推進委員会, 省エネ防犯住宅推進アプローチブック平成 18（2006）年 10 月		
	年数を設定した根拠	日本レストルーム工業会 温水洗浄便座 耐用年数ガイドライン（2003年制定）		
製造サイト（製造拠点）		便器部生産工場；榎戸工場(愛知県常滑市) 便器部・機能部 組立工場；知多工場(愛知県知多市)		
製品概要		パブリック向けに設置する大便器と温水洗浄便座が一体となったトイレ		
製品ウェブサイト		https://www.lixil.co.jp/lineup/toilet/tankless_toilet/		

●材料及び物質に関する構成要素

製品構成要素	割合 (%)	質量	
陶器	67.6	21.65	kg
樹脂	22.9	7.33	kg
金属	4.6	1.49	kg
電装部品	4.9	1.56	kg
包装材構成要素	割合 (%)	質量	
段ボール	90.1	3.56	kg
プラスチック	1.0	0.04	kg
紙（取説等）	8.8	0.35	kg

●生物由来炭素含有量

項目	含有量 (kg-C)	含有量 (kg-CO_2 eq)
製品あたりの生物由来炭素含有量	0.00	0.00
提供先にわたる包装資材の生物由来炭素含有量	1.62	5.94

●LCA 関連情報

＞EPDタイプ情報

EPDタイプ	製品タイプ	■ 単一製品	□ グループ製品	□ 業界製品
	サイトタイプ	□ 単一サイト	■ 複数サイト	
地理的範囲		日本		
複数製品/複数サイトを含むEPDにおける代表性の説明		トイレの機能部と便器部は2工場でそれぞれ生産しており、製品1台を生産するそれぞれの項目の活動量を算出し、IDEA係数を掛け合わせている。電力については日本の系統電力のデータを用いている。		
複数製品/複数サイトを含むEPDにおける、算定結果の上下幅に関する説明		便器部と機能部を生産し、組み立てる2工場のサイトからデータを収集している。		
複数製品EPDの説明		-		

＞LCA関連情報

宣言単位		台		
宣言単位当たりの質量（質量への換算係数）		36 kg/台		
基準フロー（機能単位を満たすために必要な製品数）		–		
システム境界		□ Cradle-to Gate	□ Cradle-to-Gate with options	■ Cradle-to-Grave
LCAソフトウェア		クラウド版MiLCA ver.1.2.4.0		
LCIデータベース		AIST-IDEA ver.3.4		
特性化モデル		GWP IPCC2021 with LULUCF 100a、 LIME2		
その他のバックグラウンドデータ		無し		
二次データ品質		「GPIに規定の二次データ品質を満たしたデータを用いて算定を行った。なお、データ品質評価はISO 14044： 2006（環境マネジメント－ライフサイクルアセスメント－要求事項及び指針）の4.2.3.6 に従って行った。」		
一次データ収集拠点		知多工場：便器部と機能部の組立工場、榎戸工場：便器の陶器部の生産工場		
一次データ収集期間		2024年4月1日～2025年3月31日		
生物由来炭素の取り扱い		□ 0/0アプローチ	■ -1/+1アプローチ	
電力契約に関する情報	使用有無	■ 国や地域の平均的な電力ミックス	□ その他	
	種類	–		
	購入日	–		
	発行元	–		

＞算定対象段階

資材製造段階			施行段階		使用段階							解体段階				境界外
					資材関連					光熱水関連						
A1	A2	A3	A4	A5	B1	B2	B3	B4	B5	B6	B7	C1	C2	C3	C4	D
原材料の調達	工場への輸送	製造	現場への輸送	施工	使用	維持保全	修繕	更新	改修	エネルギー消費	水使用	解体・撤去	廃棄物の輸送	中間処理	廃棄物の処理	潜在的な負荷と便益
■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	-

■ ：算定対象　– ：算定対象外

＞アロケーション

本算定ではGPIの手順に則りアロケーションを検討した。両工場ともに同一ラインでの類似品混流生産のため、電力等を計器で個別に分離することは難しく、配分回避は困難である。そのため、各拠点の管理実態と製品特性に基づき、榎戸工場（便器部）では、年間生産量を便器重量で管理しており、投入エネルギーとの相関も高いため【物理量（重量）アロケーション】を採用した。知多工場（機能部・梱包）では、生産量を製品金額で管理していることから【経済価値（金額）アロケーション】を採用した。
本アプローチは各拠点のデータ管理実態に即しており、最も客観的かつ適正に環境負荷を反映できる妥当な手法であると判断した

＞カットオフ

カットオフは無い

＞システム境界

PCRに基づき設定を行った。時間的システム境界は100年である。

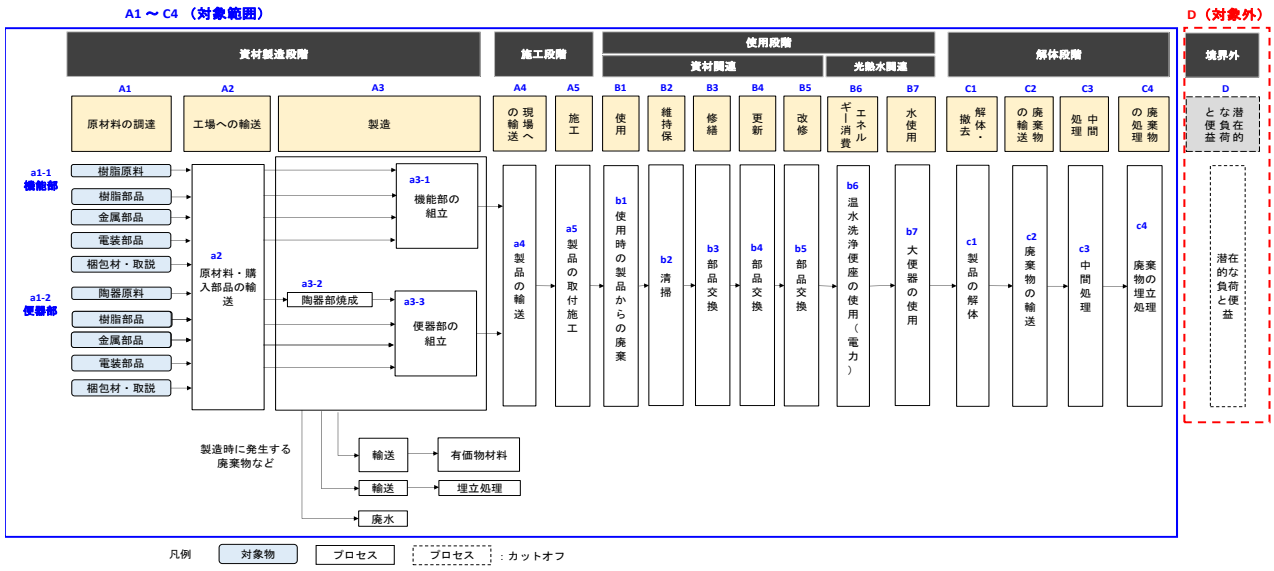
＞シナリオ

モジュール	説明
A2	輸送については、輸送距離及び輸送手段・積載率はPCRのシナリオを使用した。
A4	輸送については、輸送距離及び輸送手段・積載率はPCRのシナリオを使用した。
A5	製品の取り付けは基本手作業であり、その作業も数時間。その際、製品を固定するためのビスが10か所あり、1か所10～20秒程度の電動ドライバーの使用を想定。保守的に、一か所1分とし、合計10分の使用時間とした。
B2	毎日の清掃として、製品全体を拭き掃除し、便器内は清掃後に洗浄水量 大 5 Lで1回を使用するとした。 使用した洗浄水量と同じ量を排水した。
B6	使用（電力）については、一般社団法人 日本レストルーム工業会 工業会策定製品別CFP算定開示方法に基づき、「電気便座のエネルギー消費性能の向上に関するエネルギー消費機器等製造事業者等の判断の基準等（H19('07）年 11 月経済産業省告示、H25（'13）年改称）」に準じて年間消費電力量を測定した値、使用年数7年を使用した。
B7	使用（上水）については、一般社団法人 日本レストルーム工業会 工業会策定製品別CFP算定開示方法に基づき、カタログの洗浄水量（大 5 L/回、小 3.8L/回）、洗浄回数は、4人家族(男性2人、女性2人)が大1回/人・日、小3回/人・日、使用年数は7年を使用した。 使用（排水）については、上水の使用量と同じとした。
C1	製品の解体は、A5の取り付け作業の逆順を想定。その際、製品を固定しているビス10か所を、電動ドライバーで取り外す。1か所10～20秒程度の使用を想定。保守的に、一か所1分とし、合計10分の使用時間とした。
C2	輸送については、輸送距離及び輸送手段・積載率はPCRのシナリオを使用した。
C3	様々な素材・部品を分別処理・一部は資源化されるか、取り外した製品をそのままの状態で最終処理（埋立処理）されている可能性もあるが、それらのプロセスは不明なため、保守的に中間処理として一体となった製品の破砕処理とした。
C4	大半は素材ごとに分別されずに製品一体を埋立処理されているシナリオとした。

＞電力モデリング

製造段階、使用段階の電力については2021年における日本平均の系統電力のデータを用いて算定を行った。

＞ライフサイクルフロー図



●算定結果

＞ライフサイクル影響評価結果

		資材製造段階				施工段階		使用段階							解体段階				境界外
								資材関連					光熱水関連						
		A1	A2	A3	A1-A3	A4	A5	B1	B2	B3	B4	B5	B6	B7	C1	C2	C3	C4	D
気候変動 - 合計	kg-CO_2eq	8.86E+01	7.50E+00	3.88E+01	1.35E+02	3.43E+00	8.95E-03	0.00E+00	1.08E+01	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	6.70E+02	1.42E+02	8.95E-03	2.71E+00	3.86E-01	1.28E+01	-
気候変動 - 化石由来	kg-CO_2eq	9.36E+01	7.50E+00	3.87E+01	1.40E+02	3.43E+00	8.93E-03	0.00E+00	1.05E+01	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	6.69E+02	1.37E+02	8.93E-03	2.70E+00	3.85E-01	2.39E-01	-
気候変動 - 生物由来	kg-CO_2eq	-5.15E+00	8.68E-04	2.00E-03	-5.14E+00	6.61E-04	4.32E-07	0.00E+00	2.48E-01	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	3.23E-02	3.26E+00	4.32E-07	1.49E-04	4.89E-05	1.26E+01	-
気候変動 - 土地利用及び改変	kg-CO_2eq	1.51E-01	4.56E-03	3.16E-02	1.88E-01	3.56E-03	1.19E-05	0.00E+00	7.93E-02	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	8.90E-01	1.04E+00	1.19E-05	5.30E-03	1.39E-03	3.21E-04	-
オゾン層破壊	kg-CFC-11eq	1.06E-05	2.28E-10	2.83E-05	3.89E-05	1.53E-10	5.23E-10	0.00E+00	1.05E-06	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	3.92E-05	1.37E-05	5.23E-10	5.35E-11	1.03E-08	1.19E-08	-
富栄養化	kg-PO_4^{3-}eq	6.27E-03	3.27E-08	6.10E-06	6.28E-03	1.63E-08	1.06E-09	0.00E+00	9.56E-02	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	7.96E-05	1.25E+00	1.06E-09	1.16E-08	4.82E-08	2.79E-05	-
酸性化	kg-SO_2eq	1.15E-01	6.76E-03	2.69E-02	1.48E-01	4.90E-03	8.69E-06	0.00E+00	9.69E-03	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	6.51E-01	1.27E-01	8.69E-06	3.75E-03	2.39E-04	1.94E-04	-
光化学オキシダント生成	kg-C_2H_4eq	3.27E-03	4.48E-05	3.95E-04	3.71E-03	3.28E-05	1.49E-07	0.00E+00	1.49E-04	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	1.11E-02	1.96E-03	1.49E-07	6.88E-05	3.03E-06	2.89E-06	-
追加オプションのライフサイクル影響評価指標																			
非生物資源枯渇 - 鉱物	kg-Sbeq	5.08E-02	2.32E-08	1.26E-04	5.09E-02	1.43E-08	4.56E-08	0.00E+00	3.88E-05	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	3.42E-03	5.09E-04	4.56E-08	6.34E-09	8.71E-07	8.60E-07	-
気候変動 - 航空機輸送	kg-CO_2eq	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	-

＞ライフサイクルインベントリ分析関連情報―一次資源の使用に関する指標

		資材製造段階				施工段階		使用段階							解体段階				境界外
								資材関連					光熱水関連						
		A1	A2	A3	A1-A3	A4	A5	B1	B2	B3	B4	B5	B6	B7	C1	C2	C3	C4	D
再生可能一次資源 - エネルギー（RPR_E）	MJ	3.99E+02	2.88E-02	2.13E+02	6.12E+02	1.98E-02	8.71E-02	0.00E+00	6.65E+01	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	6.53E+03	8.72E+02	8.71E-02	6.40E-03	1.65E+00	1.63E+00	-
再生可能一次資源 - エネルギー含有材料（RPR_M）	MJ	9.57E+00	6.75E-05	1.25E-02	9.59E+00	3.23E-05	1.55E-06	0.00E+00	1.57E-02	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	1.16E-01	2.06E-01	1.55E-06	2.48E-05	6.86E-05	2.84E-04	-
非再生可能一次資源 - エネルギー（$NRPR_E$）	MJ	1.66E+03	8.32E+01	8.93E+02	2.64E+03	3.76E+01	2.70E-01	0.00E+00	2.18E+02	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	2.02E+04	2.86E+03	2.70E-01	2.98E+01	7.52E+00	5.84E+00	-
非再生可能一次資源 - エネルギー含有材料（$NRPR_M$）	MJ	4.49E+02	2.16E-04	5.51E-01	4.49E+02	1.26E-04	1.07E-04	0.00E+00	4.90E-01	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	7.98E+00	6.43E+00	1.07E-04	6.32E-05	2.49E-03	3.61E-03	-

＞ライフサイクルインベントリ分析関連情報―二次資源の使用に関する指標

		資材製造段階				施工段階		使用段階							解体段階				境界外
								資材関連					光熱水関連						
		A1	A2	A3	A1-A3	A4	A5	B1	B2	B3	B4	B5	B6	B7	C1	C2	C3	C4	D
二次材料	kg	5.80E+00	2.79E-05	2.87E-02	5.82E+00	1.40E-05	1.13E-05	0.00E+00	1.72E-02	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	8.47E-01	2.25E-01	1.13E-05	9.82E-06	2.19E-04	2.37E-04	-
再生可能二次燃料	MJ	2.01E+00	1.47E-05	4.12E-03	2.02E+00	9.21E-06	1.08E-06	0.00E+00	6.43E-03	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	8.09E-02	8.43E-02	1.08E-06	3.84E-06	2.53E-05	4.72E-05	-
非再生可能二次燃料	MJ	1.95E+00	7.98E-05	8.34E-03	1.95E+00	5.68E-05	2.51E-06	0.00E+00	2.26E-02	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	1.88E-01	2.96E-01	2.51E-06	1.63E-05	5.75E-05	9.34E-05	-
回収エネルギー	MJ	1.99E+00	1.33E-04	1.11E+00	3.10E+00	9.57E-05	4.55E-04	0.00E+00	3.47E-01	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	3.41E+01	4.55E+00	4.55E-04	2.71E-05	8.63E-03	8.50E-03	-

＞ライフサイクルインベントリ分析関連情報―非生物資源-化石燃料、淡水の消費量

		資材製造段階				施工段階		使用段階							解体段階				境界外
								資材関連					光熱水関連						
		A1	A2	A3	A1-A3	A4	A5	B1	B2	B3	B4	B5	B6	B7	C1	C2	C3	C4	D
非生物資源枯渇-化石	MJ	1.66E+03	1.03E+02	6.39E+02	2.40E+03	4.65E+01	1.25E-01	0.00E+00	1.12E+02	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	9.37E+03	1.46E+03	1.25E-01	3.69E+01	5.34E+00	3.32E+00	-
淡水の消費	m^3	1.57E+00	1.93E-04	5.99E-02	1.63E+00	9.72E-05	3.69E-06	0.00E+00	2.19E+01	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	2.76E-01	2.87E+02	3.69E-06	7.59E-05	1.60E-03	1.53E-03	-
追加オプションのライフサイクルインベントリ分析結果																			
焼成による排出と中性化からの吸収	kg-CO_2eq	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	-

＞廃棄物関連情報

		資材製造段階				施工段階		使用段階							解体段階				境界外
								資材関連					光熱水関連						
		A1	A2	A3	A1-A3	A4	A5	B1	B2	B3	B4	B5	B6	B7	C1	C2	C3	C4	D
有害廃棄物	kg	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	-
無害廃棄物	kg	1.44E+00	4.89E-03	8.32E-02	1.52E+00	3.09E-03	2.77E-05	0.00E+00	4.78E-01	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	2.08E+00	6.27E+00	2.77E-05	1.22E-03	3.87E+00	3.55E+01	-
高レベル放射性廃棄物	㎥	2.40E-09	1.85E-13	1.30E-09	3.71E-09	1.25E-13	5.33E-13	0.00E+00	4.07E-10	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	4.00E-08	5.34E-09	5.33E-13	4.24E-14	1.01E-11	9.97E-12	-
中および低レベル放射性廃棄物	㎥	1.01E-06	7.75E-11	5.45E-07	1.55E-06	5.25E-11	2.23E-10	0.00E+00	1.70E-07	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	1.67E-05	2.23E-06	2.23E-10	1.77E-11	4.23E-09	4.17E-09	-

＞出力フローに関する環境情報

			資材製造段階				施工段階		使用段階							解体段階				境界外
									資材関連					光熱水関連						
			A1	A2	A3	A1-A3	A4	A5	B1	B2	B3	B4	B5	B6	B7	C1	C2	C3	C4	D
再利用可能な部品		kg	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	-
リサイクル用材料		kg	0.00E+00	0.00E+00	5.88E+00	5.88E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	-
エネルギー回収用材料		kg	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	-
廃棄物からの排出エネルギー（エネルギー回収効率≧60%）		MJ	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	-
廃棄物の焼却（エネルギー回収効率＜60%）	廃棄物焼却処分量	kg	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	-
	回収エネルギー	MJ	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	-
廃棄物の埋立て（廃棄物の埋立てにより発生する埋立ガスからのエネルギー回収）	廃棄物埋立処分量	kg	0.00E+00	0.00E+00	1.00E-03	1.00E-03	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	3.20E+01	-
	回収エネルギー	MJ	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	-

＞LCA算定結果に関する説明

・輸送(A2,A4,C2)は、PCRシナリオに従って算定しています。そのため、結果は概算値となります。
・使用(B6,B7)は、「一般社団法人 日本レストルーム工業会 工業会策定製品別CFP算定開示方法」に従って算定しています。そのため、結果は概算値となります。
・使用(B2)は、製品の「LIXIL製品のお手入れ」を参考に算定しています。そのため、結果は概算値となります。
・施工(A5)、解体(C1)は、「製品の施工説明書」を参考に算定しています。そのため、結果は概算値となります。
・EPDは、状況が変化した場合、更新又は公開が中止されることがあります。EPDの最新版、及び有効性を確認するには、以下を確認してください。https://ecoleaf-label.jp/epd/

●追加環境情報

＞LCAに関連しない追加環境情報

ISO14001認証取得工場で生産しています。

＞有害物質に関する情報

有害物質名	CAS No.	適用される基準または規制の参照
–	–	–

建材および建設製品からの危険物質の放出
–

●用語の定義

–

●参考文献

・ISO14025:2006 Environmental labels and declarations — Type III environmental declarations — Principles and procedures
・ISO14040:2006 Environmental management - Life Cycle Assessment - Principles and framework
・ISO14044:2006 Environmental management - Life Cycle Assessment - Requirements and guidelines
・ISO14067:2018 Greenhouse gases — Carbon footprint of products — Requirements and guidelines for quantification
・ISO21930:2017 Sustainability in buildings and civil engineering works — Core rules for environmental product declarations of construction products and services
・一般社団法人 日本レストルーム工業会 工業会策定製品別 CFP 算定開示方法（2025年8月制定）
・一般社団法人 日本レストルーム工業会 温水洗浄便座 耐用年数ガイドライン（2003年制定）

●改訂履歴

–